

白馬岳(梅池～大雪溪)

山行日：7月28日(火)～30日(木) 記：イガ

コース：①28日中山ー八王子 9:43ー高尾 9:51/54ー松本 14:00/09ー大町 15:03/08 ー白馬 15:58/16:05 ー梅池ひよどり山荘 ②29日ひよどり山荘 6:08ー梅池 Gondola 駅 6:30ー梅池自然園駅 8:00…天狗原 9:18…白馬乗鞍岳 10:30/40…白馬大池 11:10/40 …小蓮華岳 13:45…三国境 14:26…白馬岳 15:25/35…白馬山荘 15:45 ③30日白馬山荘 6:30…岩室跡避難小屋 7:30…大雪溪上部 8:30…白馬尻 9:30/55…猿倉 10:45ー白馬 12:26 (松本行)ー松本 14:26 (塩山行)ー甲府 (立川行)ー八王子 18:45ー中山 19:25 同行者 1名



28日1日かけ青春十八きっぷの旅、梅池山麓の民宿に宿泊、翌日一番の Gondola で山へ



雷鳥の親子



宿泊設備やビジターセンターなどのある
梅池自然園

1時間ほど歩くと高層湿原の天狗原、乗鞍岳 2467m の景



左：白馬大池、池の右側を回り込み小屋へ向かう。

右：大池から船越の頭へ、なだらかな縦走路



お花畑



小蓮華岳山頂で憩う地元白馬高校の皆さん、毎年恒例の登山とか、30人ほどの団体、この日はほとんど一緒でした。



左：鉢ヶ岳
手前右下に
下る尾根が
鉢山道（蓮
華温泉まで
4 時間ほ
ど）、中間
に横切る道
が雪倉岳へ
続く、更に
日本海まで
あと3日
です。



小蓮華岳付近の縦走路



白馬高校の皆さん

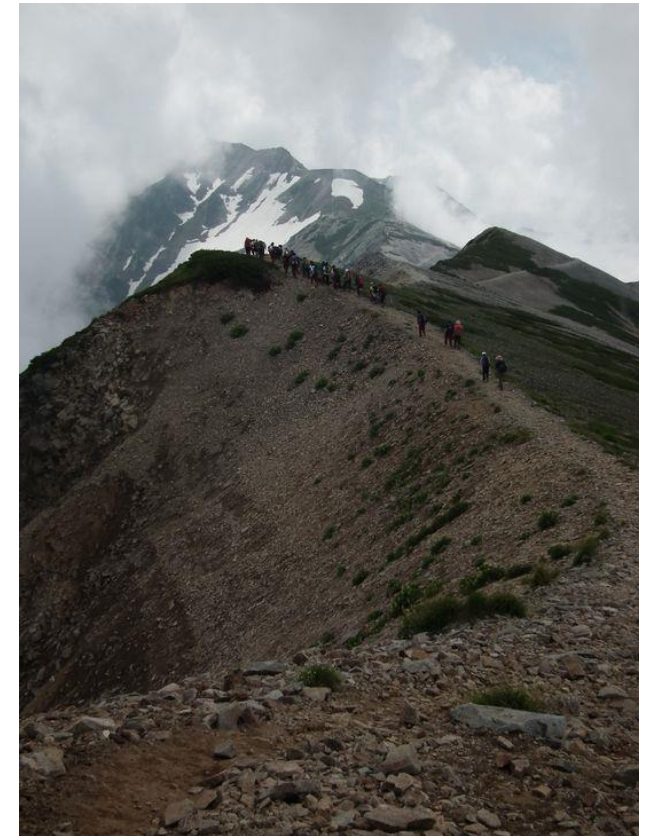


新潟、富山、長野県の境、三国境、白馬岳ま
で1時間です。



左：白馬岳（雲の中）へ、中央奥に旭岳

右：白馬岳へ歩く高校生達、バテはじめ若干遅れ気味、山荘到着後、一部の生徒は山荘の手伝いをしていた。
先生、ガイドはラウンジでビールでした。



旭岳
明日はこの山の左から祖母谷温泉への予定でした。



←白馬岳山頂の一等三角点
“ビール” いや山荘まで残すところ 10分



左：山荘から白馬岳山頂を見る。≒15分

右：白馬山荘の夕食、年寄りにはハンバーグより刺身が欲しい。宿泊者多数のため18:30の順番でした。



山荘から白馬三山の白馬鑓ヶ岳（奥）と杓子岳（左）

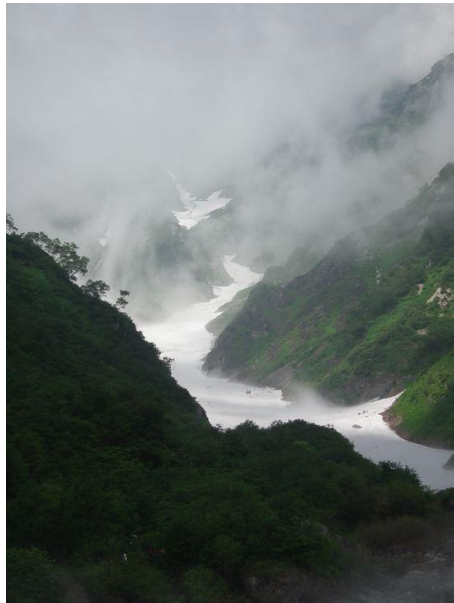


翌日はあいにく雨、予定ではこの分岐から延々8時間の下りを経て、祖母谷温泉へ向かう予定でしたが、大雪渓経由で下山に変更しました。
非常に残念！

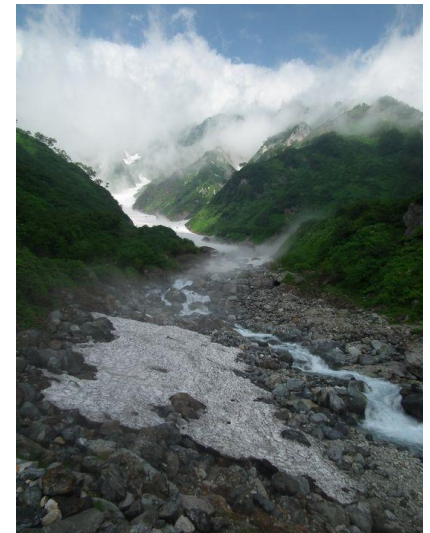


葱平付近のお花畑

白馬尻まで雨模様、一瞬青空をのぞかせましたが、この日は一日はっきりしない天気だったと！翌日は“快晴”だったと、悔しい！



続々と登ってくる登山者





白馬尻、ここでアイゼンから解放される。



イブキジャコウソウ



イワオウギ



イワギキョウ



ウサギギク



ウルップソウ



オオレイジンソウ



オタカラコウ



オンタデ



カラマツソウ



キヌガサソウ
白馬尻付近に沢山あった。



クルマユリ
レンズの曇りで失礼！



グンナイフウロ



シナノキンバイ



シロバナヨツバシオガマ



タカネツメクサ



タカネナデシコ 密集して咲いているのが珍しい！



チシマギキョウ



ハクサンイチゲ



ミヤマアキノキリンソウ



ミヤマコゴメグサ



ヤマホトトギス



ワタスゲ 天狗原にて

今回は長年願っていた白馬岳から清水(しょうす)岳への山旅だったが、ロングコースの当日が雨に降られ、大雪溪下りに変更した。祖母谷温泉に事情を話すと、いつかまた是非来てくださいと暖かいお言葉、しかし、若くない私達には簡単なことではないでしょう。

高山植物の宝庫だけあり、今回辿ったコース中には様々な花々が咲き誇っていたが、ロープなどで保護されカメラに収めることが出来ないものも数多くある。高山植物の女王といわれる「こまくさ」も砂礫地には多く咲いていた。



この写真は3年前の秋に今回とは逆コースでたどったものです。左奥が白馬岳、その尖った部分のすぐ下が白馬山荘、白馬鑓ヶ岳から見えています。